

令和 5 年度「日本語おしゃべり会」実施報告書

(日本語教室・日本語ボランティア研修実施編 兼 第 2 回日本語教室ネットワーク会議)

1 日本語おしゃべり会概要

日時：令和 6 年 1 月 28 日（日） 13：00～16：30

会場：大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）

主催：大分県企画振興部国際政策課

事業実施：（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団 おおいた国際交流プラザ

参集範囲：県内日本語教室関係者、「日本語教室・日本語ボランティア研修等」の受講者、
一般観覧希望者

参加者人数：68 名

内容：

- (1) 日本語教室（①あいうえお CLUB、②日本語ボランティアひまわり、③日本語教室きらきら、
④高田国際交流の会日本語教室、⑤宇佐日本語教室）の学習者発表と指導者コメント
- (2) 参加日本語教室による感想、および意見交換
- (3) 日本語教育総括コーディネーター 本田 明子 立命館アジア太平洋大学教授による講評
- (4) 感謝状および参加賞の授与

2 日本語おしゃべり会の目的等

令和 5 年度大分県国際政策課委託事業「多文化共生推進事業委託業務」のうち、「日本語教室・日本語ボランティア研修」の受講者に外国人指導の実例を紹介し、日本語指導の実践力を培う。

3 日本語おしゃべり会プログラム

(進行 おおいた国際交流プラザ 次長兼国際交流課長 飯田 聡一)

- (1) 13：00～13：05 開会セレモニー

主催者挨拶 大分県国際政策課 課長 荻 貴伸

- (2) 13：05～13：10 おしゃべり会進め方案内

おおいた国際交流プラザ 次長兼国際交流課長 飯田 聡一

- (3) 13：10～13：20 あいうえお CLUB 学習者発表（3名）

13：20～13：30 指導者コメント

- (4) 13：30～13：40 日本語ボランティアひまわり学習者発表（2名）

13：40～13：50 指導者コメント

- (5) 13：50～14：00 日本語教室きらきら学習者発表（2名）

14：00～14：10 指導者コメント

(休憩)

- (6) 14：20～14：40 高田国際交流の会日本語教室学習者発表（5名）

14：40～14：50 指導者コメント



(7) 14:50～15:10 宇佐日本語教室学習者発表（6名）

15:10～15:20 指導者コメント

（休憩）

(8) 15:30～16:10 意見交換

(9) " 講評

日本語教育総括コーディネーター 本田 明子 立命館アジア太平洋大学教授

(10) 16:10～16:20 閉会セレモニー

感謝状および参加賞の授与

写真撮影

4 日本語おしゃべり会の内容

(1) 主催者挨拶

大分県国際政策課 課長 荻 貴伸

本日は外国の方々が多数いらっしゃるようですので、私もあるべくやさしい日本語で挨拶させていただきたいと思います。

本日の「日本語おしゃべり会」は、地域で日本語を学ばれている外国の方々に日頃の勉強の成果を発表していただく場として、年1回、毎年この時期に開催しているものです。

単語や文法は間違ってもかまいません、大切なことは、相手の人にしっかりと自分の想いを伝えることだと思います。リラックスして、日頃の勉強の成果を存分に発揮していただきますことを期待申し上げます。

そして私からもう一つお願いしたいのは、本日の発表を契機として、ますます日本語の勉強に励んで欲しいということです。日本語というのは、世界の言語の中でももっとも難しい言葉の一つと言われています。我々日本人でもたまに間違えてしまいます。でも日本語を学べば学ぶほど、周りのみなさんとのコミュニケーションも取れやすくなるし、日本の歴史や文化ももっともっと理解できると思います。ぜひ今後とも勉学に励んでいただきますようお願い申し上げます。

あわせて、現在、国では一生懸命日本語を学んだ方に対して、実質上の永住権を与える、ずっと日本に住み続けていただけるよう制度を改正しようとしています。もちろん、大分県も日本語をしっかり勉強できて、しっかり働ける人は大歓迎です。ぜひ今後とも日本語の勉強を頑張ってください、できれば大分県に長く住んでいただきたいと思います。

あわせて、地域で日本語教室の運営をされている方々に対しましては、改めてこの場をお借りして感謝を申し上げます。



(2) 学習者発表

○あいうえお CLUB (大分市)

- ①安部 エミリー (フィリピン) 「訳わからない日本語」
 - ②土屋 パニダー (タイ) 「うっかり通訳になってしまった」
 - ③アンドレア ブルマツ (イタリア) 「私の故郷 (ふるさと) イタリア」
- 指導者コメント (北山 雅敏先生、宮瀬 とも子先生)

○日本語ボランティアひまわり (大分市)

- ④ヴェルガニオ ベネディクト (フィリピン) 「ウェルカム トゥ フィリピン」
 - ⑤ジャベル ファリード (フランス) 「私と私の家族」
- 指導者コメント (脇田 明子先生、宮崎 美可先生)

○日本語教室きらきら (中津市)

- ⑥ゲン ミン ホア (ベトナム) 「あなたの目的は」
 - ⑦ロモ コ コ (ミャンマー) 「笑顔の魔法」
- 指導者コメント (竹内 治賀子先生)



○高田国際交流の会日本語教室 (豊後高田市)

- ⑧熊 芳芸 (中国) 「日本人の夫に期待すること」
 - ⑨ゲン ティ フォン (ベトナム) 「決心」
 - ⑩メイ テー ルウイン (ミャンマー) 「家族」
 - ⑪ベッカーロ ロベルト (イタリア) 「私の仕事」
 - ⑫ラフマツ ファウジ (インドネシア) 「アニメの国」
- 指導者コメント (安達 かずみ先生)

○宇佐日本語教室 (宇佐市)

- ⑬ゲン テイエン アイン (ベトナム) 「平和がほしい」
 - ⑭モ モ ウイン (ミャンマー) 「いい友達」
 - ⑮キン ミョン ウイン (ミャンマー) 「おばあさんの教え」
 - ⑯ディン クオック ナム (ベトナム) 「第二の故郷」
 - ⑰ナン イン ジン (ミャンマー) 「夢の一つ」
 - ⑱タン タン ニェイン (ミャンマー) 「私をよい社会人してくれた日本」
- 指導者コメント (仲 富代先生、中野 美幸先生)



(3) 意見交換と講評

○参加日本語教室による感想、および意見交換

(さくら日本語教室) 発表を聞いて、言葉がでないくらい感動している。どれだけ学習したらあれだけ話せるようになるのか、こちらのほうが学びたい。

(日田市日本語教室) 自分の言葉で自分のことを伝えるのは日本人でもむずかしいのに、それを日本語で伝えているみなさんの姿に感動した。今回、当教室の学習者を連れてくることはできなかったが、日田の教室の中でも自己紹介等をする発表の場を設けている。学習者一人一人の日本語の理解の度合いは異なるが、一生懸命日本の人とつながろうとしている姿を見て、少しでもサポートできたらと思っている。



(あいうえお CLUB) 学習者が増える中、指導者は不足している状況のため、他教室はどのように指導者を募集しているかお聞きしたい。

→ (ひまわり) 主としてホームページで募集しているが、国際交流プラザとも連絡を取り合っているため、その方面からの応募もある。最近は若いボランティアも増え、指導者不足を解消しつつある。他方、子どもを対象とした教室については、大分市と協力し学校に直接支援に行っているが、そのボランティアが不足している。学校関係のボランティア不足は、みなさんどのようにしているか伺いたい。

→ (きらきら) 中津市にはもう一つ、外国にルーツがある児童とその保護者を対象とした教室があるが、そちらの教室には顔を出していないので詳細は把握していない。

→ (高田国際交流の会) 日によって学習者が多かったり少なかったりするが、指導者よりも学習者が多いときは、日本語をよく理解している学習者に先生をしてもらっている。学校のほうには関わっていないため不明。

→ (宇佐日本語教室) 教室を立ち上げたときは指導者一名のみだったが、口コミや紹介で今は9人いる。学校関係については教育委員会の仕事だと考える。

→ (日田市日本語教室) 指導者は知り合いのついでが増えてきたが、高齢化しているのは事実。年2回市民との交流会を実施しており、その際に市民に向けて日本語教室の啓発を行っている。日田でも子どもを対象としたボランティアは少ないが、指導者仲間が子ども向け指導者のチームを作って日本語教室とつながろうという動きがある。

→ (さくら) 指導者はつねに人手不足だが、口コミ・紹介でなんとか増えてきたところ。指導者不足、高齢化は大きな課題であるので、教育委員会への働きかけをお願いしたい。

→ (荻課長) 来年度も日本語ボランティアの養成講座を実施し、さらに充実もさせていく。行政では知事局と教育庁のつながりも悪かったと思うので、早速来月あたり、県庁内の会議を立ち上げ、来年度の政策充実を検討していきたい。

○講評

日本語教育総括コーディネーター 本田 明子 立命館アジア太平洋大学教授

今年度は、県内の日本語教室を回り、教えている様子を実際に見せていただいた。素晴らしい毎日の努力が、今日のこの発表につながっているというのをよく感じられた。また、指導者、学習者がお互いに思いやる、感謝する、という気持ちにあふれていて、その気持ちがいろいろな人が一緒に暮らせる地域を支えているすごい力だと思う。行政の支えがあり、その上で成り立つ教室があり、勉強するみなさんと教える先生の温かい気持ちがある地域社会が作られていけば、「ぜひ大分県に来てください」と言えるすばらしい県になると思う。



(4) 閉会セレモニー

○感謝状および参加賞の授与

○写真撮影

